

ミスミノウ	<i>Hepatica nobilis</i> Schreb. var. <i>japonica</i> Nakai	絶滅危惧Ⅱ類
(環境省:準絶滅危惧種)		キンポウゲ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が大幅に減少している。大部分の個体群がその再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	写真(加藤範夫)
形態の特徴	細長く這う根茎があり、数枚の根生葉と数本の花茎を出す多年草。根生葉は長い柄があり、葉身は3角形で3裂する。花期は3-4月。高さ10-15cmの花茎の先に径1-1.5cmの白色(ときに淡青色、淡紫色、淡紅色)花を開く。	
生態的特徴	落葉広葉樹林の林床に生える。	
分布状況	本州(中部地方以西)、九州北部に分布する。県内では県北・県南のかなり広い地域に点在して生育する。	
減少要因	本種の分布域は県北・県南のかなり広い地域にわたっているが、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要のある場合は、生育場所を特定できることのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良